

自主創造の基礎

責任者名：三澤 麻衣子

学期：前期

対象学年：1年

授業形式等：

◆担当教員

三澤 麻衣子(医療人間科学 専任講師)

佐藤 紀子(健康科学 准教授)

鈴木 秀則(基礎自然科学分野 (物理) 助教)

渡辺 孝康(基礎自然科学分野 (化学) 専任講師)

小林 理美(基礎自然科学分野 (生物) 助手)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

藤田 智史(基礎自然科学分野 (生物) 教授)

好士 亮介(医療人間科学 専任講師)

◆一般目標 (GIO)

- 1 学部・学科に関わらず、本学の学生として共通して身につけるべき学修姿勢や修得すべきスタディ・スキルを身につける。
- 2 多様な存在を認め、それぞれの価値観を尊重しながら他者と関わり合うことで、自身の立ち位置を相対的に理解する。
- 3 自ら設定した課題について論理的かつ批判的に検討を行いながら、自身の考えを伝える力を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

本科目では、TARGETを3つあげ、それぞれ学修目標を定めています。

[TARGET1] 日大生としてのアイデンティティ

- 日本大学についてさまざまな角度から概観することで、本学で学ぶ意味や意義について、説明することができる。
- 所属学部・学科の特色を理解し、在学中の目標設定し、その内容を説明すること学びの意識を高めることができる。

[TARGET2] コミュニケーションとインクルージョン

- さまざまなコミュニケーションの在り方や特徴を説明することができる。
- 自身の考えを適切に伝達することができる。
- 他者の意見に傾聴することができる。
- 多様な存在や価値観を受容し、尊重しながら、協働することができる。

[TARGET3] 論理的・批判的思考とアウトプット

- グループまたは個人でテーマを設定することができる。
- 他者の意見を尊重しながら多角的かつ批判的に自身の考えを見直すことができる。
- ワークでの検討結果を論理的に構成し、他者へ説明することができる。
- 他者の成果物に対して、自身の考えを示すことができる。

◆評価方法

各授業回で「振り返りシート」の記入を行う。本シートは、当該授業回での参画度や理解度が反映されていることから、これを主たる成績評価対象とし記入内容を評価する（50%）。加えて、事前・事後課題（25%）、学習態度（25%）とし、最終評価は評価基礎点に基づき、成績評価表示（S, A, B, C）で判定する。

全授業の受講が前提であり、受講できなかった場合は所定の手続きを取り補完授業を受けること。受講が完了しない場合は大幅な減点の対象とする。また、演習において指示された提出物の遅れや未提出は、大幅な減点の対象とする。

なお「振り返りシート」により各自の到達を確認するとともに、到達度に応じた教員によるフィードバックを授業内または本教科サイト内において適宜行う。

◆オフィス・アワー

| 担当教員 | 対応時間・場所など | メールアドレス・連絡先 | 備考 |
|--------|------------------------------------|--|----------------------|
| 三澤 麻衣子 | 月曜日 12:00～13:00 医療人間科学分野（3号館3階） | oshikawa.maiko_at_nihon-u.ac.jp | _at_をアットマークに変更してください |
| 佐藤 紀子 | 月曜日 17:00～18:00 健康科学分野（3号館3階） | sato.noriko_at_nihon-u.ac.jp 03-3219-8162 | _at_をアットマークに変更してください |
| 鈴木 秀則 | 金曜日 17:00～18:00 物理学研究室（3号館4階） | suzuki.hidenori_at_nihon-u.ac.jp | _at_をアットマークに変更してください |
| 渡辺 孝康 | 金曜日 12:00～13:00 化学研究室（3号館5階） | watanabe.takayasu_at_nihon-u.ac.jp | _at_をアットマークに変更してください |
| 小林 理美 | 月曜日 12:00～13:00 生物学研究室（3号館6階） | kobayashi.satomi_at_nihon-u.ac.jp | _at_をアットマークに変更してください |

◆授業の方法

日本大学の全学共通科目である。

歯学部においては、全ての授業回を遠隔で行う予定である。

第1回～第5回までは個人ワーク中心、第6回～第15回まではグループワーク中心の授業としている。

各授業回においては、【導入→本編→自己評価と振り返り→担当教員によるまとめ】という一連の流れで授業を進めていく。

また、日本大学ワールド・カフェ（N-Mix）が6月5日（日）（予備日6月12日（日））に開催される。これを第8回、9回の授業とする。

◆アクティブ・ラーニング

本授業では、事前課題や事後課題を出す。事前課題で授業をみなおし、事後課題で再度振り返る時間を持つことで、深い省察と、学修スキルの向上につなげる。第6回からのTARGET2および3では、グループワークを取り入れ、積極的にディスカッションを行いながら課題の質を高めていくことで、コミュニケーション能力を育み、学生同士で能動的に学修スキルを高めていく。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

| 種別 | 図書名 | 著者名 | 出版社名 | 発行年 |
|-----|--|----------------------------------|--------------|------|
| 教科書 | 特にありません | | | |
| 参考書 | 『ミライヲツクル～Learning Guide～』 (その他の参考図書については、授業内で適宜言及します) | 企画・編集 全学FD委員会教育情報マネジメントワーキンググループ | 日本大学FD推進センター | 2022 |

◆DP・CP

DP6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

DP7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

DP8

コンピテンス：省察力

コンピテンシー：プロフェSSIONALとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高めることができる。

◆準備学習(予習・復習)

演習内容に関連する本や新聞記事を読んでおくと理解が深まる。

演習を行うにあたり、事前課題や事後課題を出す。事前課題を行うことで、その後の演習の理解につなげてほしい。事後課題を行うことで、自己の省察につなげてほしい。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

情報科学演習 (第1学年前期)

Approaches to Basic Research (第3学年前期)

◆予定表

| 回 | クラス | 月日 | 時間 | 学習項目 | 学修到達目標 | 担当 | コアカリキュラム |
|---|-----|------|-------------|--------------------|---|--------------------------|-----------------|
| 1 | 全員 | 4.11 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 1. スタートアップ | ・本科目の意味や意義、位置づけについて要点をとらえることができる。 ・大学生としての学びの在り方につ | 三澤 麻衣子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 | A-9-1) 生涯学習への準備 |

| | | | | | | | |
|---------|--|------|-------------|---|--|--|-----------------------|
| | | | | | いて理解し、説明することができる。 | 小林 理美 | |
| 2 | | 4.18 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 2. 日本大学を知る① | ・本学への入学動機について振り返ることができる。 ・本学の歴史や特色を理解し、説明することができる。 | 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 | A-9-1) 生涯学習への準備 |
| 3 | | 4.25 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 3. 日本大学を知る② | ・本学の総合大学としてのメリットを理解し、説明することができる。 ・在学中の大きな目標を設定することができる。 | 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 | A-9-1) 生涯学習への準備 |
| 4 | | 5.2 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 4. 歯学部を知る① | ・所属学部の特徴を理解し、説明することができる。 ・所属学部の施設・設備とその利用方法を理解することができる。 | 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 | A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 |
| 5 | | 5.9 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 5. 歯学部を知る② | ・所属学科の特徴を理解し、説明することができる。 ・卒業後のキャリアをイメージし、段階的な目標を設定することができる。 | 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 | A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 |
| 6 | | 5.16 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 6. コミュニケーション・スキルの錬成① | ・大学生に求められるネチケットを理解し、説明することができる。 ・自身の考えを他者に伝えることができる。 ・他者を尊重し、傾聴することができる。 | 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 小林 理美 | A-4-1) コミュニケーション |
| 7 | | 5.23 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 7. コミュニケーション・スキルの錬成② | ・KJ 法による協働ワークを通して、複数の学生の考えを集約することができる。 ・グループでの議論を通して、自身の考えを深めることができる。 | 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 小林 理美 | A-4-1) コミュニケーション |
| 8, 9 | | 6.5 | 1 ～ 8 | 【遠隔】 8. ワールド・カフェ (N-MIX) *日曜日 (6/5) | ・学部を越えた交流を通して、本学のスケールメリットをあらためて認識することができる。 | 渡辺 孝康 三澤 麻衣子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 | A-4-1) コミュニケーション |

| | | | | | | | |
|----|--|------|-------------|-------------------------------|--|--|--------------------------|
| | | | | | | 上原 任 小林 理美 好士 亮介 藤田 智史 | |
| 10 | | 6.6 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 9. 論理的・批判 的思考の錬成① | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの目的や手法について理解し、説明することができる。 ・プレゼンテーションの構成や作成のステップについて理解し、説明することができる。 ・グループでの議論を通して、テーマを決定することができる。 | 鈴木 秀則 三澤 麻衣 子 佐藤 紀子 渡辺 孝康 小林 理美 | A-2-1) 課題 探求・解決能 力 |
| 11 | | 6.13 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 10. 論理的・批判 的思考の錬成② | <ul style="list-style-type: none"> ・資料や先行研究を調べ、得られた情報を整理することができる。 ・正しい引用の方法について理解し、説明することができる。 ・グループでの議論を通して、章立てを行うことができる。 | 鈴木 秀則 三澤 麻衣 子 佐藤 紀子 渡辺 孝康 小林 理美 | A-2-1) 課題 探求・解決能 力 |
| 12 | | 6.20 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 11. 検討結果のア ウトプット① | <ul style="list-style-type: none"> ・聴き手に「見やすい」提示資料の技巧について理解し、説明することができる。 ・章立てに従って、提示資料を作成することができる。 | 佐藤 紀子 三澤 麻衣 子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 小林 理美 | A-2-2) 学修 の在り方 |
| 13 | | 6.27 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 12. 検討結果のア ウトプット② | <ul style="list-style-type: none"> ・聴き手に「分かりやすい」発表の技術について理解し、説明することができる。 ・模擬発表の実践を通して、提示資料や発表方法について改善を行うことができる。 | 佐藤 紀子 三澤 麻衣 子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 小林 理美 | A-2-2) 学修 の在り方 |
| 14 | | 7.11 | 7 ～ 8 | 【遠隔】 13. 検討結果のア ウトプット③ | <ul style="list-style-type: none"> ・グループによるプレゼンテーションを行うことができる。 ・他グループのプレゼンテーションを評価することができる。 ・他グループとの比較を通して、自グループの改善点を見出すことができる。 | 三澤 麻衣 子 佐藤 紀子 鈴木 秀則 渡辺 孝康 小林 理美 | A-2-2) 学修 の在り方 |

| | | | | | | | |
|----|--|------|-------------|--------------------------------|--|----------------------------|-----------------|
| 15 | | 7.25 | 7 ～ 8 | <p>【遠隔】</p> <p>14. 総括・振り返り</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本科目における自身の学びを客観的に振り返り，各到達目標についての自己評価を行うことができる。 ・本科目における達成状況を参照しながら，後学期に向けた具体的な目標を設定することができる。 | <p>三澤 麻衣子</p> <p>佐藤 紀子</p> | A-9-1) 生涯学習への準備 |
|----|--|------|-------------|--------------------------------|--|----------------------------|-----------------|